

体裁—A5判・上製・192頁

定価—本体2,500円＋税

2011年6月刊行

ISBN978-4-8350-6985-2

## 「被拒絶上陸者口供書」が語る 被害者移民の実態

官約移民制度は、日本政府とハワイ王国政府との協約に基づいて行われ、十年間で約三万人を送出、一八九四（明治二七）年まで続いてハワイの日系社会基盤となった。一八九六年の人口調査では、ハワイの日本人は二万二千人を超え、全体の二〇・五%を占めるにいたった。

日本人のハワイ渡航熱が高まる一方、日本人の増大に強い警戒心と恐怖を感じていたハワイ政府は、日本人移民増大防止策に頭を悩ます。そして、ハワイ合併を支持するマッキンリーがアメリカ大統領に当選すると、ついに強行策にでる。それが日本人移民ハワイ上陸拒絶事件（一八九七年）である。

ハワイの官約移民研究を出発点とし、日本人の出移民研究を長年続けてきた著者は、「被拒絶上陸者口供書」（外交史料館蔵「布哇ニ於テ本邦移民ノ上陸拒絶一件第二巻」所収）という史料に着目。これは、当時のハワイ駐在日本総領事、島村久が、当事件で強制送還された六二六人の移民一人ひとりにホノルルの収容所で直接面談し、書き残した記録である。この史料を『日本外交文書』はじめ諸文献から収集した豊富なデータとつきあわせ、検討することにより、事件の全容を考察、検証する。

一章では、事件の背景・原因にふれ、二章では事件の発生から解決に至る過程を、三章では「被拒絶上陸者口供書」・送還移民の調書を主要な史料として、被害者移民（おもに広島・山口・熊本の三県に集中）の実態に迫る。具体的な出身町村や渡航目的、就労会社、携帯金などの詳細データや聴取書などから浮かび上がる被害者移民の実像とは何か。官約移民時代末期に移民卓越地域の町村を中心に成立していた地縁と血縁を基軸とした移民情報ネットワークと、同事件のかかわりを解き明かす著者畢生の書。

児玉正昭 著  
Kodama Masaki

# 日本人移民ハワイ上陸拒絶事件

不二出版

領事報告を中心に

# 移民研究にいつそのの深さと幅広さを加える重要な研究

飯野正子 (津田塾大学学長)

本書は、ハワイ官約移民の研究に始まり、長く日本の出移民研究を続けてきた著者が、「日本人移民ハワイ上陸拒絶事件(一八九七年)」を考察する、興味深い研究書である。著者が史料を非常に大切に、それを広い視野と深く鋭い洞察力をもって分析する、卓越した学者であることは、移民研究の分野の誰しもが同意する。本書には、そのような著者の本領が存分に発揮されているといえよう。

著者は、「日本人移民ハワイ上陸拒絶事件」を考察するにあたって、この事件で日本へ強制送還された移民の調査である「被拒絶上陸者口供書」を丹念に読み解き、著者の言葉によると、その「小さな窓口」から被害者移民の実態を捉え、事件発生の要因を探るのである。「小さな窓口」を通して著者が緻密な手法で進める作業の結果、最終的には移民の視点で事件の要因が実証される。その過程は研究者にとっては、まさにスリルに満ちたものである。

とくに第三章は、上記の史料に加えて、口述書にはなかった移民の出身地を著者が根気よく調査した結果が有効に用いられ、著者ならではの丁寧な分析になっている。著者のこれまでの研究の積み重ねを基盤にして、そのような緻密な調査・分析が、本書を光らせているのだ。日本における移民研究にいつそのの深さと幅広さを加える重要な研究であり、後に続く研究者にとって大変ありがたい貴重な掘りどころとなることが確実である。

## 興味深い移民情報ネットワーク構築のさま

桑井輝子 (白百合女子大学文学部教授)

本書は、出移民研究第一人者による精緻で誠実な研究の、すぐれた成果である。「日本人移民ハワイ上陸拒絶事件」といっても、日本移民史の専門家でも詳しく知る人は少ないであろう。事件は、ハワイ王朝の転覆、共和制樹立、アメリカ合衆国への併合というハワイ政局の激変のなかで、日本人移民の参政権獲得運動、日本の移民送出事業、アメリカ合衆国の膨張的アジア政策が複雑に絡んで起こった。著者は、外交史料館、広島県文書館所蔵資料をはじめとして、関連する資料を丁寧に掘り起こし、つぶさに検討し、事件の経緯と結末を再現している。その記述は詳細であり、本書自体に資料的価値がある。また、数多く掲載されている図表類は、文献から数字を拾い、分類整理するという多大な時間と労力を要した作業の成果であり、汎用性が極めて高く、有用である。本事件を探究して見えてきた移民多出県の偏在につながる移民情報ネットワークの構築のさまも興味深い。日米関係史、日本移民史、日系アメリカ人史に興味を持つ人々だけでなく、文献による歴史研究のあり方を模索している人々にも本書を勧めたい。

### 1 上陸拒絶事件発生

一八九七年(明治三十)二月二十七日、移民総数六六五人(契約移民一八九人、自由移民四七六)を乗せた神州丸が、ホノルル港に入港した。同月二十八日同船甲板上に於てハワイ国税関史立会の上種痘の検査を受け、移民中より麻疹類似の患者が発生したため、全員を検疫所に移した。

その状況は、移民一人毎に携帯金の出所を三回にわたって答えた者や父など親族より貰い受けたと答えた者は上認めなかった。三月十日に取調べが完了し、契約移民られず、自由移民中六七名が上陸を許可された。ハワイ通商局長宛に、神戸渡航合資会社取扱契約移民一八三つたことを報告している(外務省は三月二十三日この文書でハワイ大審院へ税関の決定を無効とする訴訟を起政府側と原告側弁論人との間で論争が行われた。三月当院於て受理スベキモノニ非ラズ)と判決しハワイ政内閣会議を開き自由渡航者再審の議を決し、三月十九日に許可した。大審院の判決を聞き三月十七日ハワイへ保護請願書を提出した。<sup>3)</sup>

日本総領事館は、三月十七日、ハワイ政府に対し、

本文組見本・80%に縮小

表 11 強制送還移民損害査定額調

使船別	県別	男女別員数		一人に付き査定額	男女別総員に対する額	県別額	
		男	女				
神州丸	広島	男	190	91.90	17,461.00	19,942.30	
		女	27		2,481.30		
	熊本	男	2		96.76	193.52	193.52
		女					
	山口	男	74		93.90	6,948.60	8,826.60
		女	20			1,878.00	
	岡山	男	2			179.80	179.80
		女					
	小計	男	268			24,782.92	
		女	47			4,359.30	
合計		315			29,142.22	29,142.22	
佐倉丸	広島	男	83		89.76	7,450.08	9,254.28
		女	20			1,795.20	
	森岡に依らない男	男	1		109.76	109.76	
		女					
	山口	男	38		91.76	3,486.88	5,003.04
		女	12			1,101.12	
	取扱人に依らない男	男	3		101.76	305.28	
		女					
	熊本	男	2		94.62	189.24	378.48
		女	2			189.24	
福岡	男	1		92.88	92.88	92.88	
	女						
小計	男	128			11,634.12		
	女	34			3,085.56		
合計		162			14,719.68	14,719.68	
畿内丸	広島	男	93		92.40	8,593.20	9,886.80
		女	14			1,293.60	
	山口	男	24		94.40	2,265.60	2,832.00
		女	6			566.4	
	熊本	男	349		97.26	33,943.74	40,071.12
		女	63			6,127.38	
	小計	男	466			44,802.54	
		女	83			7,987.38	
	合計		549			52,789.92 ※ 上記の合計より6名分帰港運賃を除き	52,693.92
	契約移民	神州丸	広島	男女	66		23.65
山口			男女	79		24.25	1,915.75
合計		145				3,476.65	
累計		1,171				100,032.47	

出所：外交史料館蔵「市味ニ於テ本邦移民ノ上陸拒絶一件 第17巻」(損害調査委員取調書)より作成  
 上記累計総額 100,032.47 (円) に次の三費を加算し総合計 100,151.57 (円)  
 ① 71.16 円 (森岡に依らざる男4人——神戸渡航合資会社扱男1人と移民会社取扱に依らない男3人——に追加分1人17.79 円)  
 ② 76.74 円 (畿内丸便熊本県民携帯見船賃2人分)  
 ③ 1.20 円 (神州丸便広島県民検疫費1人分)  
 本調査は各移民配布額追加として金1円50銭(出発前雑費1人分)を加算して計算している  
 原資料の表の数値を一部訂正しているが総額は変わっていない(佐倉丸便、広島県別額、山口県別額を訂正)  
 上記の累計総額には渡航中止移民損害額 8,964.84 円(熊本県民分 6,657.96 円、宮城・山形県民分 2,306.84 円)は含まれていない。それを加算すると総額 109,116.41 円となる。

### 目次

はじめに i

第一章 日本人移民ハワイ上陸拒絶事件の背景

1 日本国側の事情…………… 5

(1) 官約移民制度とハワイ渡航熱…………… 5

(2) 移民保護規則と移民保護法…………… 9

(3) 日清戦争後の海外渡航熱…………… 12

2 ハワイ共和国側の事情…………… 16

(1) ハワイ王国の滅亡とハワイ共和国の成立…………… 16

(2) 日本人移民の参政権獲得運動…………… 19

(3) ハワイの日本人移民社会の変容…………… 22

(4) ハワイ共和国政府の日本人移民増大への対応…………… 34

(5) 上陸拒絶事件の前奏…………… 49

第二章 事件の発生と経緯

1 上陸拒絶事件発生…………… 61

2 日本政府の対応…………… 65

3 ハワイ政府の対応…………… 69

4 米布合併条約調印と大隈外交…………… 74

5 仲裁裁定…………… 77

6 西外相の方針…………… 86

7 米西戦争と米布合併…………… 89

8 日布紛争解決…………… 93

第三章 被害者移民の実態

1 上陸拒絶移民の口供書と調査…………… 109

2 被害者移民数とその出身町村…………… 116

3 渡航目的…………… 128

4 携帯金の出所…………… 136

5 賠償金額の配分…………… 144

6 移民情報ネットワークの成立…………… 151

巻末収録「上陸拒絶・送還移民出身町村一覧」解説…………… 173

おわりに 176

外務省通商局編〔大正11年～昭和6年刊〕  
**移民地事情 全10巻・別冊1**

本誌は、中南米地域（ブラジル・アルゼンチン・ボリビア・メキシコ・コロンビア・チリ・パラグアイ・ウルグアイ等）についての、日本人移民地の「視察報告」を取りまとめ、不定期で全一七冊刊行された。これらの各地域には、既に邦人移民が相当数定住しており、その地の詳細な地図と共に、彼等の生活状態を報告した本書は、日本人移民地の実情を知る基本資料である。

- 別冊Ⅱ解説（柳田利夫）・総目次
- A5判・上製・総4、810頁
- 本体価格191、000円十税
- 99年11月～00年12月配本完結〔復刻版〕

日本移民協会発行〔大正3年～大正8年刊〕  
**日本移民協会報告 全2巻**

一九一四年二月に大隈重信を会頭として「日本移民協会」が設立された。本誌は同会の機関誌として、北米における日本移民の労働や就学状況調査、東南アジア・南米への移民の有望性・将来性、南洋諸島の移民地としての価値など、移民に関わる幅広い論説と情報を提供している。

- 解説（坂口満宏）・総目次・索引付き
- B5判・上製・総680頁
- 本体価格36、000円十税
- 06年9月刊〔復刻版〕

三田千代子著  
**「出稼ぎ」から「デカセギ」へ**  
—ブラジル移民100年における人と文化のダイナミズム—

一九〇八年に始まるブラジル移民から一〇〇年。本書は、この一〇〇年のブラジルと日本との移民の社会文化史を追うことよって、去りし者Ⅱ出移民と、来たりし者Ⅱ入移民による、ヒトの移動によってもたらされた文化のダイナミックな変容を考察した好著！

- A5判・並製・296ページ
- 本体価格2、000円十税
- 09年3月刊

外務省通商局編〔明治40年～昭和15年刊〕  
**海外各地在留本邦人職業別人口表 全5巻・附録1**

本資料は世界各地に居住する日本人についてその男女別・職業別（後に本業者・家族別）を一覧表にまとめ、何度かその形式やタイトルを変えながらも、明治四〇年以降年一回、三十年以上わたって印刷・刊行された調査である。明治期以降の海外における日本人の活動の実態を把握するための第一級資料。移民研究、歴史地理研究等の基本文献。

- 解説（柳田利夫）付き
- B4判・B5判・上製・総1、800頁
- 本体価格95、000円十税
- 02年11月刊〔編集復刻版〕

外務省通商局編〔明治36年～昭和14年〕  
**海外日本実業者の調査 全8巻**

外務省は日露戦争直前の一九〇三年一〇月、海外各地に在留する日本人実業者の調査を初めて実施し、その結果を「海外日本実業者ノ調査」として刊行した。海外における日本人商工業者について、この調査に匹敵する網羅的調査報告はなく、明治期後半から昭和戦前期における日本人の殖民・移民の経済活動の全貌と日本企業の海外展望が掌握できる。

- 解説（高嶋雅明）付き
- A4判・上製・総2、498頁
- 本体価格224、000円十税
- 06年11月～07年6月配本完結〔復刻版〕

蘭 信三編・著  
**日本帝国をめぐる人口移動の国際社会学**

本書は、朝鮮、満洲、樺太、台湾、南洋を舞台として、複雑に展開された「人口移動」の諸相を、国際社会学の視角から総体として捉えようとしたものである。

- A5判・上製・898頁
- 本体価格8、000円十税
- 08年6月刊

佐々木敏二著  
**日本人カナダ移民史**

本書は、戦前、カナダへ渡った「日本人移民」の歴史を、滋賀・和歌山両県を中心として、出移民と移住地の定住過程を結びつけ、体系化した、著者の永年の実証的研究成果が結実した労作。

- A5判・上製・304頁
- 本体価格6、000円十税
- 99年8月刊

龍谷大学社会科学研究所叢書 第45巻  
戸上宗賢編・著  
**交錯する国家・民族・宗教**  
—移民の社会適応—

グローバル化した二〇世紀の移民・移住現象を国家、民族、宗教そして教育などの側面から考察した共同研究書。執筆Ⅱ戸上宗賢・李洙任・桑井輝子・木村健二・横山勝英・島田法子・飯野正子・小島勝

- A5判・上製・288頁
- 本体価格4、600円十税
- 01年5月刊

坂口満宏著  
**日本人アメリカ移民史**

二〇世紀前半、日米開戦に伴う日系人の強制収容直前までのアメリカ合衆国西北部に形成された日本人移民社会の展開と消滅の過程を歴史の流れのなかで多角的に考察した書。

- A5判・上製・340頁
- 本体価格6、500円十税
- 01年11月刊

立命館大学日系文化研究会編  
**戦後日系カナダ人の社会と文化**

多文化主義社会カナダの戦後日系人の抱えた政治的・文化的問題を、組織・祭り・言語・文学・メディア等を通して多角的に追及。執筆Ⅱ坂口満宏・佐々木敏二・和泉真澄・篠田左多江・彦坂佳宣・山本岩夫・松原美恵・野崎京子。

- A5判・上製・238頁
- 本体価格3、500円十税
- 03年7月刊

●表示価格はすべて税別。

**不二出版**

〒113-0023  
東京都文京区向丘1-2-12  
電話03-3812-4433  
フアックシヨウ03-3812-4464  
振替001600-294084